

平成27年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立静原小学校)

1 平成27年度 重点評価項目

1. 確かな学力の育成(つけたい力を明確にした言語活動)
2. 豊かな心の育成(自律心と責任感の育成を目指した協働活動)
3. 健やかな体の育成(基本的生活習慣の確立、体力の向上)

2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価				
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	評価日	評価者(いずれかに○)	評価日	評価者(いずれかに○)	
1 確かな学力	確かな個の見取りを核とした自覚的実行力の育成 読書の習慣化	自ら学び、行動していくうとする子どもを育む工夫 100冊読書の定着 読書ノートの活用 朝読書の確実な実施	児童の話す・聞く態度の変容・ジョイントプログラムの結果 進んで本を読むことの意識について	ジョイントプログラム国語・算数の正答率が上昇 ほぼ全校児童が、上半期に読書50冊をクリアしている。	⇒	・「話す」「聞く」「書く」の取組の継続によりやジョイントプログラムの結果にも効果が出てきている。 ・読書に向かわせる取組の効果で読書冊数が昨年よりのびている。	・体験活動などでは、必ず自分の感想をみんなに伝えるようにする取組を続ける。 ・授業時間には、必ず自分の考えを書くようにする取組を全校で徹底する。 ・宿題の出し方・量について校内で事例を出し合い見直す。	⇒	・運動会を見ていると学校全体が一つになって取り組んでいることが感じられる。いろいろな取組についても同じように取り組まれることを望む。 ・個に応じた対応をこれからもしていただき、基礎・基本の定着を確実にお願いしたい。	⇒	・学校行事への協力をこれからも進めていきたい。 ・体験活動のボランティア材整備、人材発掘を進めていきたい。
	家庭学習の習慣化	学校だよりによる啓発活動	家での学習時間はどれぐらいか。	高学年は1時間以上、低学年は30分程度勉強している							
2 豊かな心	豊かな体験活動の実践 挨拶や望ましい言葉づかいの徹底	ボランティア活動家事手伝いの奨励 農業体験	家の仕事の手伝いを進んでいますか	「進んでいる」児童の割合は、高学年80%低学年60%	⇒	・毎月、様々な人権について考えたことについてがんばっていきたいことを掲示したり「なかま通信」にしたりしている。 ・「ていねいな言葉使い」は、教職員や保護者・地域で同じ意識で見逃さず、指導している。	・体験活動で感じたことを、自らの言葉で表現する場を充実させる。 ・全教職員が見守っていくことをこれからも続けていきたい。 ・家の仕事の手伝いは、担任、保護者間での連絡を密にとり、役割を持たせて進めていきたい。	⇒	・児童が自律していくよう見守って生きたい。 ・協働の場面を通して感じたことや今後活かしていきたいことを、もう一度保護者・地域・児童で考える機会を作ることが大切。	⇒	・ボランティア活動や地域福祉事業を学校と地域と連携して、充実させていきたい。
	自覚的実行力育成を通じた豊かな心の育成	・各活動を進める中で主体的活動重視や話し合いや協力の場を積極的に作る	子どもは望ましい言葉づかいができると思いますか 「大きめ」で「丁寧」で「気持ちは育っていますか ・きまりや約束を守って	重要度は高いが、実現度は低い(保護者)							
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけ	早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活はできていますか	10時以降就寝高学年33%7時までに起床高学年100%朝食摂取95%	⇒	・睡眠時間の確保や回復を考えていきたい。 ・体を動かすことを意識させていきたい。	・保健室だけではなく、学級通信等でも積極的にトピックとして取り上げる。 ・運動に向かう取組の充実や自発的に体を動かせるよう運動の仕方を紹介していく。	⇒	・体を動かす楽しさをみんなで共有できる取組を充実してほしい。	⇒	・児童の体力向上に向けて取組を考えたり、保護者への発信をしていきたい。
	体力の向上	・遊びやスポーツを通じた運動の習慣化 ・各運動タイムの取組	・元気よく運動してますか ・休み時間の運動状況及び体力テストの結果	児童の自己申告は100%運動している。体力向上的伸びていない項目33%	⇒						
4 独自の取組	児童の主体的な学習や活動、生活の仕方を目指す	・必ず行事や活動の後自分の考えを話す取組 ・自覚的実行力の奨励	・目標を決めていろいろなことに取り組んでいますか。	・目標を決めて取り組んでいる児童は100%保護者から見た実現度は低い。 ・年3回の授業研修会を実施	⇒	・「個の見取り」の意図的な活用を進めている。育てたい子どもの姿としてイメージして取組を進めている。 ・ホームページについてには、時間のある時に更新しているが、閲覧状況が伸びている。	・校内研究では、個の見取り交流を必ず入れている。 ・自覚的実行力推進について機会あることに話題にして浸透させている。 ・ホームページは、学年からの発信を増やす方向で更新頻度を上げ、見てもらえるような情報発信を保護者・地域に行う。	⇒	・自覚的実行力は、浸透している。児童の自発的主体的な活動に向けて協力していきたい。 ・ホームページは見て楽しい内容になっている。	⇒	・地域行事や地域の取組についての価値を考えて積極的参加を増やすようにしていきたい。
	情報発信の充実	積極的なホームページの更新	学校ホームページへのアクセス数	年間アクセス数は上半期で昨年度の70%を超えている。							